

令和4年度

社会人選抜

読解・表現力試験

注意

1. 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
2. 問題紙は3ページ、解答用紙は2枚です。指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入してください。
3. 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入してください。
4. 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
5. 試験終了後、問題紙は持ち帰ってください。

1 以下の文章を読み、問1～問5に答えなさい。

あなたは暦に支配されている。なんと大げさなと思われるかもしれない。だがその証拠に、今朝、あなたは起きてから、本日の日付が2021年11月20日土曜日であり、この特別選抜の実施日であることを確認し、そして受付時刻までにこの会場に到着しただろう。やはり私たちは暦と、そして時の流れのある一瞬に過ぎない時刻に縛られているのだ。いやしかし、あなたが暦と時刻どおりに動かなければ、現在こうしてこの文章を読むこともないし、島根大学の特別選抜という機会もふいにしてしまう。私たちは暦どおりに行動し、時刻をまもらねば自分自身が不利益を被ることになってしまう。それはなぜなのだろう。

まず暦が、時の流れを、一日を単位として週、月、年などによって区切り、数えるようにした体系だからである。そしてA□□□□の基本単位である「日」が、地球が1回の自転に要する時間であるように、暦は天体の動きと密接な関係を持つ。「月」は、月が地球の周りを一回りする時間とほぼ等しい。そして「年」は、地球が太陽の周りを一回りする時間となる。また「時」は、「日」を24等分したもので、1分の60倍、1秒の3600倍となっている。このようにして私たちは時間を数え、連続する時間の中の一点である時刻を定めている。

つぎに暦と時刻は、共有されることで特定の集団をつくることになる。たとえばこの特別選抜も、あなたを含めたこれにかかわる人すべてが、試験日程という暦と時刻を共有することで、B□□□□□が形成されている。これまでもあなたは、様々な集団と時の流れを共有しながら過ごしてきた。小学校から高校までは、学校という集団で、始業、終業などの時刻を共有してきた。まれに共有すべき時刻に遅れることもあったかもしれない。それはその集団内において、遅刻としてあつかわれ、場合によってはC□□□を被ることになる。

(D)、暦には特定の時を共有する集団をつくるはたらきがある。また暦には、特定の集団にその記念日を共有させて、集団の一員であることを自覚させるはたらきもある。たとえば家族の誕生日は、その家族の一員であることを自覚する記念日であろう。Yカレンダーを見ると、たとえば5月であれば3日の憲法記念日、4日のみどりの日、5日のこどもの日など、様々な記念日が並んでいる。しかしこれらの記念日は、日本国であればこそその祝日であろう。アメリカ合衆国のカレンダーであれば、これらは祝日ではないし、「7月4日(Fourth of July)」の独立記念日などが、祝日となる。すなわち日本のカレンダー上の祝日は、日本国民という集団で共有されることで、国民である自覚を促すものなのだ。

国家という範囲を超える記念日として宗教行事がある。英語圏の国々で、10月31日に祝われるハロウィンは、もともとは古代ケルト人の収穫祭だったとされる。ケルトの風習では、この日に、死者の霊が家族を訪ねてくると信じられていた。またこれと同時にあらわれる悪霊たちから身を守るために仮面をかぶり、魔よけのたき火をたいた。しかし現代では、本来の宗教的な収穫祭としての意味合いはなくなり、カボチャのランタンを作り、子どもたちが魔女やお化けに仮装して、家々を訪ねてお菓子をもらうイベントに変化をしている。このように暦や記念日の意味も、時の流れにより変化をするのである。

問1 下線部A～C(□で示したもの、□の数は文字数)に入る適切な語句を、それぞれ本文中から指定された文字数でぬきだしなさい。Aは4文字、Bは5文字、Cは3文字である。

問2 空欄(D)に入る言葉として最もふさわしいものを次の①～④から一つだけ選び、①～④の数字を用いて答えなさい。

- ① しかし ② 一方で ③ このように ④ その上

問3 二重下線部ア以外に、時刻とはどのようなものと述べているか。本文からぬきだして11字で書きなさい。

問4 二重下線部イに「カレンダーを見ると、(中略)様々な記念日が並んでいる」とあるが、著者はこの記念日・祝日にはどのようなはたらきがあると述べているか。本文からぬきだして30字以内(ぬきだした箇所に句読点がある場合はそれらを含む)で書きなさい。

問5 次の①～④について、本文で述べられた著者の主張あるいは認識と合致しているものに○、合致していないものに×、をそれぞれつけなさい。

- ① 暦の区切りである週、月、年はいずれも天体の動きと密接な関係を持っている。
② 私たちは、暦などにより時間を数え、時刻によりその一点を指定することができる。
③ 英語圏の国々では、現代においてもハロウィンを収穫祭として祝っている。
④ 多くの場合、記念日の持つ意味は、時代を超えて変わらない。

2 図1はある1枚の紙を示したものである。以下の問1～問2に答えなさい。

問1 この紙について4人の中学生(A～D)がそれぞれ次の表現をした。

- A: 家の絵が描かれた長方形の白い紙
- B: 長方形の白い家の絵が描かれた紙
- C: 家の絵が描かれた白い長方形の紙
- D: 白い長方形の家の絵が描かれた紙

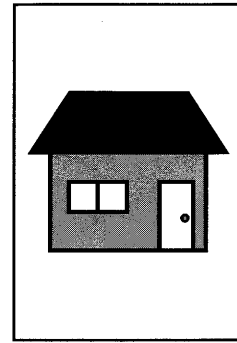


図1

(1) A～Dの表現のうち、図1に示されている紙について「誤った解釈が生じにくい表現」をすべて選び、A～Dの記号を用いて答えなさい。

(2) A～Dは図1の紙を表現するために「白い」、「長方形の」、「家の絵が描かれた」という修飾語を用いている。これらの修飾語に加えて、「白い」に対する修飾語「まぶしいほどに」、及び「家」に対する修飾語「ドアの横に窓がある」を加えて「誤った解釈が生じにくい表現」を書きなさい。

問2 A～Dとは別の2人の中学生(EとF)が図1についてそれぞれ次の表現をした。

- E: 白い家の絵が描かれた長方形の紙
- F: 長方形の家の絵が描かれた白い紙

(1) これらは「誤った解釈が生じやすい表現」である。具体的にどのような誤った解釈が生じる可能性があるのかをそれぞれ7字以内(句読点を用いる場合はそれらを含む)で書きなさい。

(2) EとFの表現にそれぞれ1つだけ読点を打つと「誤った解釈が生じにくい表現」に変えることができる。その表現をそれぞれについて書きなさい。

(3) (2)を参考にして、どんな場合にどこに読点を打てば「誤った解釈が生じにくい表現」となり得るのかを、「修飾語」と「修飾される名詞」という語句を用いて40字以内(句読点を用いる場合はそれらを含む)で書きなさい。